議案部性	一関	工業高等	等専門]学校		開講年度	令和06年度 (2	2024年度)	授	業科目	英語表現	lП		
接来が開き、	科目基礎	計報												
####################################								科目区分		一般/選	択			
接触 接触 対応 でとからに目の資味	授業形態							単位の種別と単位	位数	学修単位: 2				
接触事情解析					工学科	斗(一般科目)		対象学年		3				
四世								週時間数	2					
型連目標 高齢のは関係 へ					al Eng	glish I (Pears	son)	•						
展開的な趣。、文法力を脅威し、誘射力の向上を図る (現今百世)	担当教員		7	川 理화	- 菜干,									
機関時間 A 地域的な対策しへいの目空	到達目標		'											
理想的は別達しべいの目安	【教育目標	票 】 A	力を	養成し、	読解力	力の向上を図る	3.							
評価の旧1	ルーブリ	<u> </u>			тш	おかわれています		抽洗した 100mm 100	~~ L ~ D	·	十四十二			
対象の	評価項目1													
(文法力							ある程度の知識かある。 			ISCNC	・ 生件 しさしい	1/4/10	
接触力 1987年にからいた。 1987年により、 1987年のからい。 1987年のより、 1987年の1988年により、 1987年の1988年の1	語彙力				る	<u>。</u>	記集で中記し CV	大体の語彙を理解	解してい	る。	ほとんど	定着している	:い。	
学科の到達目標項目との関係 教育自居 A 教育方法等 概要	評価項目3 読解力	3			殆	すべての内容	を理解できる。	大体の内容がつた	かめる。		内容があ	まり理解でき	ていない。	
照要 高校原レヴェルの話彙・文法力の確素な理解を通して、主に話解力の向上を図る。		引達目標	項目	との関	係			•			•			
	教育方法	 法等							·					
授業の進め方・方法	奶 要		膏	易校標レ	グエル		も力の確実な理解を	通して、主に読解さ	力の向上	 を図る。				
授業の属性・履修上の区分 □ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授資 必確修 授業計画 □ 授業内容 □ 担談 日本		か方・方法	計	最初に授	業で指	旨定された読角 寅習問題を解さ	なパートの設問、 、重要な文法と語	および重要文法・ 句の知識の定着化	語句にて を図る。	いての解		その後、文法	・語句の知	
授業の属性・履修上の区分 □ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ □ 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授資 必確修 授業計画 □ 授業内容 □ 担談 日本	注意点		扬	受業で学 【事前学 【評価方	んだこ 智】う 法・iii	ことを提出ノー 予め、学習する 平価基進】試験	- トなどを利用して 6内容の中で、分か 1.0.0%で評価す	、自学自習して定えらないことを辞書る。レポートの提出	着を図る を用いて 出を求め	。 調べてま ること#	うくこと。 うある。			
□ アクティブラーニング □ ICT 利用 □ 図 遠隔授業対応 □ 実務経験のある教員による授業 必廃権	授業の屋	計・履						_	,,,,,,					
接案計画						ICT #III		7、清愿授業が成			□ 宝教	経験のおろ数	日に トス哲学	
接換		177	<u></u>			וכו איזה			,			注意大 () (3) (3) 子文	女によるは	
週 授業内容 週ごとの到達目標 1週														
1週	<u> </u>	1	\		155.414	1			\F					
2週														
3週														
### 3rdQ			2追	<u> </u>	Unit	9 Troublesho	ooting							
5週			3週]	Unit	9 Troublesho	ooting					り取りを聞		
5週			4逓]	Unit	9 Troublesho) Safety		工業製品の取扱説明書を理解する					
### Page		3rdQ												
後期						,			工場などの現場での危険な状況時の注意・対処法を英					
Piasura Pi			7逓]	Unit	引試験			空港での飛行機のアクシデントについて英語で説明する					
### Page	後期		8追]	中間調				+ - Unit 9~10が理解できているか確認する					
### Page			9调]	Unit									
### 4thQ ### 11週 Unit 11 Cause and Effect 風力発電の仕組みを英語で理解する				10週 Unit 11週 Unit 12週 Unit 13週 Unit		it 11 Cause and Effect								
4thQ 12週 Unit 12 Checking and Confirming 火星探査機から送信された英語データを理解する 13週 Unit 12 Checking and Confirming 火星探査のピデオゲーム内での英語でのコミュニケーションを理解する 14週 Unit 12 Checking and Confirming 英語で書かれたチェックリストを理解する 15週 Unit 12 Checking and Confirming 演習 16週 期末試験と達成度の評価 Unit 7 11~12の内容が理解できているか確認する モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標 学習内容の到達目標 分野 学習内容 学習内容の到達目標 分野 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週 財業に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。 カウセントの規則を習得して適切に運用できる。 中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切に運用できる。 中学で既習の文法や文構造を習得して適切に運用できる。 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた大文法や文構造を習得して適切に運用できる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100話程度の速度ではっききる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 2														
### 4thQ														
14週		4thQ				<u>y</u>			火星探査のビデオゲーム内での英語でのコミュニケー					
16週 期末試験と達成度の評価			14											
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標			15	週	Unit	t 12 Checking and Confirming			演習					
分類 学習内容 学習内容の到達目標 到達レベル 授業週間き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。 3 基礎的能力 英語 英語運用の基礎となる知識 事語運用の基礎となる知識 3 3 基礎的能力 英語 英語運用の基礎固め 事語運用能力の基礎固め 第 基礎的能力 英語運用能力の基礎固め 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがでまる。 3 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表も表ものな表も表ものな表も表ものな表も表ものな表も表ものとまる。 3				_				Unit 7 11~12の内容が理解できているか確認					確認する	
基礎的能力 基礎的能力 本語 英語運用の 基礎となる 知識 英語 英語 英語 英語 英語 英語 英語 英語	<u>モデル</u> :	<u> コアカリ</u>	<u>キュ</u>	<u>ラム</u> の	学習	内容と到達	目標							
大文・社会 英語運用の 英語運用の 英語運用の 基礎となる 知識 大文・社会 科学 英語運用的 英語運用的 英語運用的 英語運用的 大文・社会 日本 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・社会 大文・大文 大文	分類			分野		学習内容	学習内容の到達目	標				到達レベル	授業週	
英語運用の 基礎となる 知識	基礎的能力					基礎となる知識 英語運用能力の基礎固	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。			3				
基礎的能力 人文・社会 科学			· 社会 _英 i				クセントの規則を習得して適切に運用できる。							
を使い能力 科学 中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。 日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。 日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 1		人文・		英語			新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適			3				
英語運用能りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで 3力の基礎固さる。め日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3		科学					中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。			3				
日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表 3							りとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることがで			3				
							日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表			3				

				説明や物語などのなように音読ができる		度の速度で聞き手	に伝わる	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報 を読み取ることができる。				3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、 100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。				3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場 面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。				3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。				3	
				自分の専門分野などの予備知識のある内容や関心のある事柄に関する報告や対話などを毎分120語程度の速度で聞いて、概要を把握し、情報を聞き取ることができる。				3	
				英語でのディスカッ 、教室内でのやり きる。	ソション(必要に応 取りや教室外でのE	じてディベート)を 日常的な質問や応答	想定していなどがで	3	
				英語でディスカッ? 学生自ら準備活動や。				3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、教室内外 で英語で円滑なコミュニケーションをとることができる。				3	
			英語運用能力向上のた	関心のあるトピック イティングなど論5	クについて、200語 里的文章の構成に留	発度の文章をパラ 留意して書くことか	グラフラ できる。	3	
			めの学習	関心のあるトピックや自分の専門分野のプレゼン等にもつながる 平易な英語での口頭発表や、内容に関する簡単な質問や応答などのやりとりができる。				3	
				関心のあるトピックや自分の専門分野に関する論文やマニュアルなどの概要を把握し、必要な情報を読み取ることができる。				3	
				英文資料を、自分の専門分野に関する論文の英文アブストラクトや口頭発表用の資料等の作成にもつながるよう、英文テクニカルライティングにおける基礎的な語彙や表現を使って書くことができる。				3	
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略 (ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。				3	
				日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。				3	
分野横断的	20日的社会			他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。				3	
能力	加州的汉化	INCHIDATE H	と 汎用的技能 	他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。				3	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。				3	
評価割合									
	試験			相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	台	ì:it
総合評価割合			0	0	0	0	0		00
基礎的能力	100		0	0	0	0	0	10	00
専門的能力	0		0	0	0	0	0	0	
分野横断的能	5力 0		0	0	0	0	0	0	
	•			•	•	•	•		